

## 時過ぎて60年一旅と山と教室で出会った人たち⑥ 大西清見

## モンブランへ

大阪市立東高校勤務時代に泉州勤労者山岳会に入りました。それまでは本格的な登山の経験がなく、歩くことができなくなってしまった膝痛を克服したいという単純なきっかけでした。泉州労山とその登山が、その後の私を青春時代に戻してくれたほどのインパクトを与えました。山岳会では経験豊富な山仲間にも恵まれ、技術の向上と山域の拡大はもちろん、常に自然と共有しながら友情を深めていけるという素晴らしい世界が待っていました。また、歩くことも困難な膝通も克服できて、今ではどの山行でもバテずに歩くことのできるほどの体力がアップできたことも画期的なことでした。

これまで国内外の多くの山に登ってきましたが、登山の楽しさも苦しさも私の一番の山はヨーロッパアルプス最高峰・モンブラン(4810m)でした。そのモンブランア挑戦のあしあと(記録)を読んで見ると、4人の登山家(私は心からそう呼んでいます)との出会いと登山の心が、その後の私の登山に大きな影響を与えたことは言うまでもありません。以下、モンブラン登頂のあしあとより抜粋です。

私が尊敬する二人の登山家(2年ほど前から私は心でそう呼んでいました)は、イニシアルがM(中津川労山)とO(高知労山)。この二人の登山家は、私のモンブラン登山を心から支えて下さいました。「富士山の高所トレーニングもこなしているのだから、ブライツホルンをクリアすればモンブランは大丈夫ですよ」とMさん。「ヨーロッパアルプスは、交通機関が発達している分、高度順化が大変そうですが、くれぐれも気をつけて、無理なさらず、そして楽しんでください。モンブラン遠征の成功をお祈りしています」とOさん。いつも優しく控えめな二人の性格ですが、しかしいつも登山について前向きにエールを送って下さり、この二人の登山家を支えにヨーロッパに向かったのです。

2007年7月31日、モンブラン登山を開始、会仲間5名とガイド3名がモンブランに向かったのです。しかし、不運なことに今回はモンブラン登山のルートについて変更点があり、その後の行動に大きなハンディとしてのしかってくるのです。その変更点とは、「登山電車ベルビュー～ニ・デーグルまでの区間が事故による不通となっており、通常は登山電車で移動するこの区間を歩いて移動する」ということです。標高にして1794mのベルビューから2372mのニ・デーグルまで、所要時間約3時間の負担になったのです。それでも8名は元気にベルビュー～テート・ルース小屋～ゲーテ小屋のルートを目指して出発したのです。ベルビュー～テート・ルース小屋まではショートカットの別ルートを選びました。途中ガレ場の厳しいトラバースもありましたが、時々高山植物が私たちに元気をくれます。高度順化対策だけはしっかりとろうと、常に腹式呼吸と水分補給を心がけて歩くようにしたのです。テート・ルース小屋で軽食、ここでF夫妻は脚への違和感からガイドと下山することになりました。テート・ルース小屋からゲーテ小屋までは

途中の小氷河や岩の背を越えてあとは段状の岩稜を直登していくのです。この岩稜は高度差 400 m以上、小屋直下は岩と雪の世界、それも垂直に近いルートです。ハーネス、アイゼンを身につけ、ガイド（PERRY さん）・大西・H さんとザイルで結び、今まで経験がないような厳しい登攀が続きました。途中休憩を要求しても PERRY さんは私をグイグイ引っ張って登ろうとします。やはりこれがアルプス本場のあるべきレベル、ペースと奮起してついていきました。最後の力を振り絞って登り詰めるとグーテ小屋（3817m）、大勢の登山者で賑わっていました。S さんたちも少し遅れて合流、休憩のあと少し早めの夕食、翌日のモンブラン登攀準備と慌ただしく時間が過ぎていきました。小屋はフランス人、イタリア人、韓国人が多く、みんな翌朝の登山を控えて早めの就寝となりました。【歩行時間：7時間30分】 続く

### ◇編集後記◇

この一年、月に三度ほどのペースで実家（京都府伊根町）の両親の介護を兼ねて帰省しています。介護は想像以上に心身とも疲れますが、それでも実家への帰省する道中で美しい風景に出会ったり、美味しい昼食の楽しみで良いドライブができて楽しみが増えました。写真左は兵庫県丹波篠山の農村風景、青い空に鯉のぼりがたくましく泳いでいました。いつまでも眺めていたい日本の農村の風景です。写真右は大江山の峠超えにある日曜日限定の昼食、何と 800 円でプラス 100 円で珈琲もつきます。午前 11 時から営業、40 食限定の昼食は午後 1 時頃には完売とか。やはりドライブは一般道を楽しんでゆっくりのんびりと、がいいですね。（大西清見）



\*\*\*\*\*

今月も各会より会報を送っていただきました。

安治川山の会ニュース（安治川山の会）、やまなかま（泉州労山）、きたろうニュース（きたろうHC）、にしよど（西淀労山）、ぽんぽん山（高槻）、奈良県連ニュース滋賀県連ニュース、福岡県連通信、労山おかやま、やまと友の会、HCかざぐるま、京都労山、噴煙（鹿児島労山）、兵庫労山会報、県連ニュース（和歌山労山）

発行日 2019 年（令和元年）5 月 20 日 No.399

編集・発行 入澤、大西秀、笠井、園、高橋、中井、中尾、服部、大西清

\*\*\*\*\*